



SONY COMPUTER ENTERTAINMENT INC.

1996年10月23日

「プレイステーション」アジアで販売開始

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントは、家庭用ゲーム機プレイステーションを日本以外のアジア市場でも販売することを決定いたしました。第一弾として、香港、シンガポール、タイ、マレーシア向けに、アジア仕様のプレイステーションおよびプレイステーション用ソフトを出荷し、各現地市場内のプレイステーション特約店にて12月初旬から販売を開始いたします。

当社は、1994年12月のプレイステーション発売後、これまで日米欧市場でのビジネスの立ち上げを中心に取り組んできましたが、発売後2年を機に、成長が著しい有望市場のアジアでもビジネスを構築していくことにいたしました。これにより、全世界での事業活動を拡大するとともに、アジアでのゲーム産業の発展に貢献してまいります。

第一弾として、市場の有望性と、ゲームビジネスに対する体制作りの進み具合により、香港、シンガポール、タイ、マレーシアで販売を開始いたします。そのため、当社は、ソニー現地販売会社およびディストリビューターと協力して、ゲーム流通に適した有力店の中から各現地市場内で100店前後ずつを特約店 (Authorized Dealers) として現在選定中です。これら特約店の数は当初合計で約400店となる見込みです。また、プレイステーションのアフターサービスは、ソニー現地販売会社の協力を得て、そのサービス窓口にて受け付けてまいります。

このたび発売するアジア仕様のプレイステーション「SCPH-5003」は、NTSC方式日本向けソフトに対応しています。また、110ボルトから240ボルトまでの電源電圧に対応するマルチ電源対応となっており、各国の安全規格を取得しており、安心してお使いいただけます。

「SCPH-5003」の各現地市場での標準価格は、香港およびシンガポールでは日本での標準価格相当（消費税別）、タイおよびマレーシアでは関税分を加算した価格で、各々1500香港ドル、280シンガポールドル、6400バーツ、580リング前後を予定しております。

アジア向けのソフトは、日本市場で好評のタイトルを、プレイステーションの販売に併せ12月初旬から現地で販売開始いたします。その後も、日本で発売される主力新作ゲームソフトのジャケット及び説明書のみを英語に変更したアジア仕様盤を、日本と同タイミング

でアジア各現地市場で発売してまいります。多種類のソフトに対する受注供給体制をアジア各現地市場との間に効率的に構築するため、これらアジア向けのソフトは、ライセンシー各社製のゲームソフトについても、当社が各社からライセンスを受けてパブリッシャー（出版元）となり販売してまいります。

従来よりアジア市場では、他市場向けのゲーム機の改造品やゲームソフトの海賊盤が多く流通しており、正規のゲーム産業が成立するには難しい状況がありました。しかし、当社のアジア市場におけるプレイステーションの販売にとって、著作権の保護を重視したビジネスの構築は不可欠です。また、発展の著しいこれらアジア各国地域において、更なる文化発展のためには、著作権保護を重視した産業基盤の構築が必須であります。そのため、当社は、ゲームソフト業界、各政府当局、ソニー販売会社、ディストリビューター、特約店と一致協力して、ハードとソフトの両面で正常なゲームビジネスを推進してまいります。

以 上